

要請番号（JL04824A26）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	G131 空手道		個別	新規	2年	・2024/3・2025/1・2025/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

ブータンオリンピック委員会

2) 配属機関名（日本語）

ブータン空手協会

3) 任地（ティンブー県ティンブー市） JICA事務所の所在地（ティンブー市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩 で 約 0.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先のブータン空手協会は2009年設立された組織であり、ブータン・オリンピック委員会に属している。配属先は、ブータン国内の9つの地域で各年代の選手を指導しているが、各地域には空手道場はなく、学校の体育館等で練習を行っている。登録選手数は約1,000名、コーチは約30名であるが、多くのコーチは学校教員や元空手代表選手などがボランティアで行っている。首都ティンブーの総合スポーツ施設では、ナショナルチームへの指導も行っている。これまで空手道のJICA海外協力隊派遣実績はなく、今回が初めてとなる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ブータン国内での空手の認知度は高いとはいえず、配属先は国内における空手の普及と技術指導に務めている。その成果として、2019年の南アジア大会では銅メダルを獲得している。今後の目標として2026年南アジア大会での金メダル獲得を目指しているが、国内指導者の知識・経験不足が目立ち、選手の育成にも影響を与えている。南アジア大会に向けてはナショナルチームの強化およびコーチ陣の育成が必要不可欠であるため、オリンピック協会からの強い要望により今回の要請に至った。なお、派遣されるJICA海外協力隊にはナショナルチームだけでなく、一般選手の指導も求められている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先の同僚コーチと協力しながら、以下の活動を行う

- 空手道の精神、規律、基本を重んじたトレーニングをコーチと共に行う。
- ナショナルチーム選手へ組手、型の指導を行う。
- コーチへの技術指導を行う。
- クラブ活動で空手を教えている国内の学校(15校)の先生や生徒に技術指導を行う。

練習時間は月～土で平均5時間程度。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

道場(畳でなくフロアマット使用)、道着

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

ヘッドコーチ(20代、男性、2段)

同僚コーチ4名(20代～30代:2段)

【活動対象者】
代表(候補)選手20名(男女各10名、10代～20代)
一般選手 約30名(初級、10代～20代)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（空手道三段）
[性別]：（ ） 備考：
[学歴]：（大卒） 備考：同僚の学歴水準に合わせるため
[経験]：（指導経験）3年以上 備考：指導的な活動を行うため

[参考情報]：
・型や組手の指導経験
・特に流派にはこだわらない

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（-5～30℃位） [電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

・現地語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。